



広報かいせい

2017

11

田舎モダン



開成町
kaisei town

No.572



特集 開成町の子育て 開成町でママになる

問 子ども・子育て支援室 ☎84-0328

問 保険健康課 ☎84-0327

赤ちゃんとの生活

やっと出会えたかわいい我が子。だけど、今までの生活が一変。2時間おきの授乳におむつ替え。間隔が開いてきたなど思ったら、今度は夜泣きが始まり、一晩中抱っこであやす。夜泣きが終わったと思ったら、イヤイヤ期でどうにもならず、ママまでイライラしてしまう・・・。

かわいい我が子であることは変わらないけれど、赤ちゃんとの生活がこんなに大変だったなんて!と感じる方も少なくないのではないだろうか。

「ママ」の役割

共働き世帯の数は、専業主婦世帯の数を上回り、働き手としての「ママ」の数は年々増えています^{※1}。

しかし、いざ子どもが生まれると、育児休業を取得するのは、ほとんどがママ。女性の育児休業取得率81・8%に対して、男性は3・16%と男女で大きな差があります^{※2}。「イクメン」という言葉も浸透し、男性が積極的に育児にかかわる雰囲気も徐々に広まりつつありますが、子育てにおける「ママ」の役割は依然として大きいのではないだろうか。

※1 男女共同参画白書平成29年版より

※2 平成28年雇用均等基本調査結果より

アンケート結果

町の子育て支援センターを利用するママ約90名に、妊娠中・産後・現在感じていることについてお聞きしました。

妊娠が分かった時の気持ちは？

- 第1位 嬉しかった (82人)
- 第2位 戸惑った (5人)
- 第3位 びっくりした (2人)
- 第4位 不安になった (1人)

妊娠中に困ったこと、不安だったこと

- 第1位 赤ちゃんの成長のこと (30人)
- 第2位 出産への不安 (20人)
- 第3位 自分の体のこと (17人)
- 第4位 出産後の子育て (15人)
- 第5位 妊娠中の生活 (7人)

※複数回答有

産後に困ったこと、つらかったこと

- 第1位 授乳のこと (43人)
- 第2位 家事のこと (23人)
- 第3位 慣れない育児 (23人)
- 第4位 上の子どものこと (18人)
- 第5位 子どもの病気 (17人)

※複数回答有

子育て支援センターとは…

乳幼児を育てている方の育児不安の解消や親子交流の場、子育て情報の提供、育児相談などを行っています。

町内には、保育園に併設された「開成町子育て支援センター」と平成28年4月に開所した「開成町駅前子育て支援センター」の2か所あります。

町の子育て支援センターについて



くろさわ まいこ ひろき
黒澤真衣子さん、弘樹くん (8か月) (みなみ)

相模原市出身の黒澤さん。真衣子さんのお母様が開成町出身だったこと、みなみ地区のきれいな街並みが気に入ったことをきっかけに開成町に引っ越されました。

「弘樹はよく寝て、一人遊びも上手にしてくれるので、育てやすく助かっています。」と真衣子さん。

開成町でママになる

今回の特集は開成町の子育てです。中でも、子育て世帯の要である「ママ」の生の声に迫りながら、そんなママたちをサポートする町の様々な子育て支援制度を紹介します。また、これらの制度をライフスタイルに合わせて活用しているママたちの姿も併せて紹介します。

生まれてきた子どもたちが「開成町に生まれて良かった」と感じ、そして子育てしている方々が「開成町で子育てできてよかった」と胸を張ってもらうために町ができること、皆さんができることを一緒に考えてみませんか。



ちょっと聞いてヨ!



産後ママの ホンネ

赤ちゃんとの幸せな日々を過ごしているママたち。でも実は、こんなことを思っていました！
子育て中の方や子育てを経験した方は「わかる、わかる!」と共感できるのではないのでしょうか。そんな産後ママたちの生の声を紹介します。

混合育児で
ミルクを足す量が
分からなくて不安だった

母乳が上手に飲めず、
ぐずぐず泣き続け、
夜もまともに
寝られなかった

第一子の時、産後一か月くらいまで
十分におっぱいが出ず、
一日中授乳して、
乳首も痛くなり辛かった

乳首が切れていたかったけど、
母乳を飲んでいての
子どもの幸せそうな顔
を見ると、痛みを耐えられた

母乳が十分に出なかったので、
子どもが満足せず寝つきが悪かったり、
不機嫌だったりした
どうしたら母乳が出るのか
ということばかり考えていた

母乳が足りているのか、
ちゃんと飲めているのか、
ずっと不安だった

授乳のこと



授乳後大泣きしたり、
授乳間隔も短かったり
母乳を満足に
出せないなんて
…と落ち込んだ

部屋の中が片付かず、
やりたいけどやれず、
もどかしかった

初めての育児ですべてに不慣れで、
家事も今まで通りできず、
毎日いっぱいいっぱいだった

家事のこと

抱っこばかりで、
家事が思うようにできず
辛かった



家事の最中に泣き出し
てしまうことが多く、
家事全般が
中途半端
になってしまい自己嫌悪
になった

夫の帰りが遅いので、
一人で家事・育児を
するのが辛かった

その悩み、聞かせてください!

子育ては、不安でいっぱいですよ。
出産を終えて休む間もなく子育てに突入したママの身体や心は、ホルモンバランスの変化、昼夜問わずの慣れない授乳による睡眠不足が重なり、疲労困憊です。
また、「わが子をしっかり育てなくてはいけない」と、親としての責任から、たくさんの心配や悩みを感じひとつ解決しても、またひとつ…と次々に心配や不安が出てきます。
私たちは、子育てしている方を保健医療の専門的立場から応援したいと思っています。
一人で悩んで苦しい時や「ちょっと聞いてみたい」という時にご連絡ください。一緒に子育てについて考えましょう。



保険健康課 新美保健師

僕たちにも言わせて!

パパの ホンネ

今までの夫婦の生活リズムがガラッと変わりました。子どもの生活リズムに合わせるのは大変です。

夜中に子どもが起きたので、寝ぼけながら胸をトントンして寝かしつけようとしたら、「今からおむつ替えるの!」と妻から言われてしまいました。あやすタイミングを間違えたみたいです…。

母乳や育児の知識が少なく、ミルク作りや接し方に戸惑い、上手くできないと思って消極的になってしまいました…。

夜中に何度も起きるので、妻と交代しながら抱っこして、二人とも寝不足になってしまいました。

出産や授乳など母親は自分の身を削って子育てしていてすごいと思います。これからパパになる方、奥様をいたわってほしいと思います。



3~4か月児健診に来ていた
香川拓己さん、
湊助くん(4か月)
(上延沢)

両方の子が泣いている時、
上の子を優先させるべきか
迷った

パパがあまり
育児に積極的に
協力してくれなくて
イライラした

育児 のこと

すぐに
かんしゃく
癇癪を起こして泣くので、
どうしていいか分からなかった

上の子の
赤ちゃん返りが激しく、
二人が大泣きして
大変だった



子どもと一緒に体調を崩した時、
近くに親戚がおらず、
一人で看病して辛かった

つかまり立ちや伝え歩きをし、
動き回るようになったので、
おむつ替えが大変だった

心のこと

思ったように予定が進まなくて
イライラすることがある

産後うつで、
マイナスのことばかり
考えている時期があり、
辛かった

落ち込んだり、イライラすることもあるけれど、
子どものかわいい寝顔を見ると

気持ちがリセットされる

ママたち、とっても
頑張っているね



周囲の人を『敵』だと思っていて、
ふとした瞬間に涙が溢れてきた
※産後のホルモンバランスの乱れや育児による負担などから
一時的にイライラするなど、情緒不安定になること。



ママの悩みで一番多かった授乳のこと。
 その他、なんでも聞いてください!!

赤ちゃんが生まれたら...

赤ちゃん訪問

第1子全員と第2子以降で希望する方に保健師・助産師が訪問を実施しています。

訪問では、赤ちゃんの成長と一緒に確認しながらお話を伺います。



- 7~8 か月健康相談
- 離乳食講習会

- 3~4 か月児健診
- 子育てセミナー
- 乳幼児健康相談

- 妊婦訪問
- ママ&パパ教室

訪問

ひだまり

妊娠がわかったら...

母子健康手帳の交付

町では、母子健康手帳交付の際に、妊婦さん一人ひとりとお話しをします。必要に応じて、出産から子育てまでの支援プランを作成しています!

妊娠中は、心も体も大きく変化していきます!
 なんでも相談してくださいね!

県の未病カルテと連動した電子母子手帳もあります!



その悩みを解決!!
 開成町の子育てサポート

町には、お子さんの成長に合わせて、ママ&パパの悩みに応える様々な子育てサポートがあります。そのいくつかを紹介します。

この他、妊娠期からの支援を町HPでも紹介中! →



新生児~12か月

妊娠期

「ひだまり」という愛称には、ほっとできる温かく見守るような支援をする場としての願いが込められています。笑顔で子育てできる町をめざし、妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援することを目的としています。

「ひだまり」では、妊娠中や子育て中の皆さんの様々な相談に応じています。専任の相談員として、保健師・助産師などがいますので、妊娠・出産・子育てについて一緒に考えていきましょう。

妊娠から子育てまでワンストップで

母子健康包括支援センター

ひだまり

◆開設時間◆

月~金曜日

(祝日・年末年始を除く)

午前8時30分~午後5時15分

「ひだまり」の役割

- ① 妊娠届出時にすべての妊婦さんと面談を行い、必要な情報提供や相談に応じます。
- ② 支援プランを希望者や必要な方と一緒に作成し、妊娠中から子育てまでをサポートします。
- ③ 相談内容に応じて必要な支援を切れ目なく行います。他機関との連絡調整も行います。

まずは
ご相談ください!



◆相談方法◆

電話相談・家庭訪問・来所相談・メール相談
 hokenka@town.kaisei.kanagawa.jp



←ひだまりについて

お仕事に復帰!

保育園

仕事などのため、家庭で保育できない保護者に代わってお子さんをお預かりします。

開成町の保育園について↓



入所について↓



3歳~

親子でたのしむ子育て

のびのび子育てルーム

3歳児の健やかな成長を支援し、保護者の方の子育ての仲間づくりや不安・悩みを相談できます。

平成30年度の参加者募集→



3歳児健診

3か月~

ファミリー・サポート・センター

お子さんを預けたい方と預かる事が出来る方を登録し、アドバイザーが会員間で紹介する、地域で子育てを助け合う仕組みです。(事前登録が必要です)

☎ 20-9699

ファミサポについて→



一息つきませんか?

ちょっと子どもを預けたいママに

声かけ訪問

地域の身近な大先輩として大活躍! お子さんの成長に応じて、訪問しています。なんでもご相談ください!



- ✿ 1歳6か月児健診
- ✿ 2歳児歯科健診
- ✿ 歯のお手入れ教室

母子保健推進員の声かけ

ひだまり

3歳~

1~2歳

Mama's Voice

のびのび子育てルーム 子どもの成長を感じました

のびのびルーム、すくすくルームでは、普段見ることのできない子どもの一面を見ることが出来ました。

のびのびルームは、親も一緒に参加するので、子育ての悩みや幼稚園での生活について相談できる友だちができ、幼稚園に入園する前に、先輩ママや先生に話を聞くことができました。

下の子が生まれたばかりの頃、真ん中の子がすくすくルームに通っていました。すくすくルームは、子どもだけで過ごすので、集団生活から多くのことを学んでいるようでした。

真ん中の子が通っている間に、下の子の面倒や家事をすることができました。下の子がいると、外でもいっしょに遊ぶことができなかったの、子どもにとっても、私にとっても、すくすくルームは良い時間になりました。

つゆき 露木 留美さん (中家村)
7歳、5歳、1歳の3児のママ



お役立ち情報満載!

子育てガイドブック

町の子育て情報がギュッとまとまった便利な一冊!

子ども・子育て支援室、保険健康課、子育て支援センターで配布中!



ずっと使える
便利な一冊だね!

町民カレンダーには、年間の健診の予定が掲載されています。





Mama's voice

酒田みなみの保育園

利用者の声



柳川 理沙さん

親子で成長した半年間

平成27年10月に第一子晴秋くんを出産した柳川理沙さん。約1年6か月間の育児休業を経て、今年4月、仕事に復帰しました。現在、晴秋くんは酒田みなみの保育園に通園しています。

「通い始めた頃は体調を崩しがちで、お休みばかりでした。親の都合で預け、子どもが体調を悪くするような環境に置いてしまっていたのか悩みました。」と、悩まれた日々を思い出して涙ぐむ柳川さん。入園して半年経った今、晴秋くんは元気いっ

ぱいに登園しています。

「苦手な野菜も保育園では周りの子の影響で、食べています。先生に褒めてもらえるのが嬉しいみたいです。家族以外の大人から愛情を注いでもらえることは、本当にありがたいです。」と、保育園生活でいい刺激を受け、成長しているそうです。また、柳川さん自身も入園後、学んだことがあるそうです。

「時間の大切さを学びました。一緒にいられる時間が限られるので、育児中よりも子どもとの関わりが充実していると思います。」



▲保育園のお迎え



▲哲哉さん、晴秋くん

子育てを応援してくれるまち

これから開成町で子育てをする方々に向けたメッセージをいただきました。

「開成町は、子育てにおすすめな町です。産後の保健師さんの訪問に始まり、いちごクラブやあそぼう会、のびのび子育てルームなど、小学校に通うまでの間、途切れない子育て支援があり、町全体で子育てを応援してくれていると実感しました。他の市町に住む友人に話すとても羨ましがられます。」

子育て支援センター

利用者の声



小田 香代子さん

広がる友だちの輪

生まれも育ちも開成町の小田香代子さん。先月、3歳の誕生日を迎えた穂香ちゃんほのかと夫和之さんかずゆきの3人暮らしです。穂香ちゃんと過ごす毎日の遊びの中で、支援センターをよく利用しているそうです。

「子どもが9か月の頃、友だちに誘われて初めて支援センターを利用しました。子どもの友だちもできましたし、私自身にもママ友ができました。ママ友には色々なことを教えてもらっています。また、子育てのベテランでもある保育士さんがいてくれるので悩み事があるときは、相談しています。いつでも気軽に

町の子育て支援制度を活用しているママにお話をお聞きしました。

ファミリー・サポート・センター
利用者の声



やまもと じゅんぽ
山本 純布さん

産後の活用

ご夫婦とも九州出身の山本純布さん。旦那さんの勤務先に近い開成町に、小田原市から3年前に引っ越して来ました。

現在、山本さんは、勤務先の静岡県三島市まで新幹線で通勤しています。

ファミサポに登録したきっかけは、2人目の妊娠でした。

「なかなか利用する機会がなかったのですが、ファミサポのスタッフの方に勧められ、2時間利用し、上の子を預ってもらいました。」

すると、いつも2人見ていたのが、1人になり、家事もでき、とてもリフレッシュできました。」と山本さん。

その後、月に1、2回、2時間の利用を始めたそうです。実際に預けてみて「まかせて会員さんとの良い出会いがあり、娘もとても楽しかったようで、行くのを楽しみにするようになりました。」とのこと。

仕事復帰後の活用

今年4月に仕事に復帰してからは、出勤時間が早いため、保育園の登園をファミサポにお願いすることがあるそうです。



▲勝也さん、芽以子ちゃん(1)、薫ちゃん(4)

「朝の登園は、通常はお父さんが送っていますが、どうしても対応できない時に、まかせて会員さんに子どもを預け、登園のお手伝いをお願いしています。」と山本さん。

引っ越してきて、周りに知っている人がいなかった山本さんですが、ファミサポを利用して、地域に頼れる人ができたことが、安心につながったそうです。

子育てしやすいまち

様々な制度を利用しながら、仕事と子育てを両立する山本さん。最後に子育てをする皆さんへメッセージをいただきました。

「開成町は、子育てしやすいまちです。ファミサポの利用が30分単位で可能になるなど、どんどん便利になっています。子育てを支援する様々な制度があるので、どんどん調べて活用してほしいです。そして、利用者の声を発信して行ってほしいですね。」

に相談できる場所があるのは、安心できます。もっと早くから利用すればよかったなと思います。」と小田さん。

友だちと一緒に成長

「月齢の早いお友だちと遊んでいると、お友だちにはできないことがたくさんあります。そんな時、どうするかなど見ていると、一生懸命、挑戦する娘の姿がありました。また、お友だちも穂香が遊具に登れないと手を差し伸べてくれました。一緒に遊ぶことで子ども同士、お互いに良い刺激を受けて成長しているなと感じます。」と小田さんは嬉しそうに語ってくれました。



▲ママと一緒におやつタイム



頑張る ママたちへ！

先輩ママから妊娠中や子育て真っ最中の方々へのメッセージです。

「ママだって人間なんだから」という保健師さんのアドバイスに励まされました。完璧にこなそうとせず、イライラもニコニコも気持ちのままに過ごしていいと思います。人間なんだから！



妊娠中は出産するまでずっと不安で安心することがないし、子育ても毎日が試行錯誤で正解はないけれども、半人前な母は子どもと一緒に成長して一人前になればいいのかなと思います。

今がずっと続くわけではないので、周りの方にたくさん協力してもらって少しでも笑顔で。

母の笑顔が子どもにとっての一番の栄養だと思います。

家にこもっていても考え過ぎてしまうので、あじさいっこやあそぼう会、ファミサポなどたくさん利用して、自分の時間をつくってほしいと思います。どんどん人に頼って育児しましょう！

子育てを経験して、親も少しずつ親として成長するのだと思います。最初から「立派な親」「親としてこうあるべき」である必要はないと思います。



最初の1年は余裕のないままあつという間に過ぎます。気付くと子どもは走り回るようになり、おしゃべりも始まり、もっと日々を楽しめたらよかったなと思います。今が大変なお母さん、すぐに楽になりますよ。大丈夫、大丈夫！



一緒に子育てを楽しみましょう！

あじさいっこに遊びに来ていた皆さん▶



妊娠、出産から0歳児のお世話は本当に心身ともに大変ですが、このかわいさは今しか味わえないと思って、周りに頼りながら一緒にがんばりましょう！

産後から責任を感じて色々頑張っていました。自分のペースでゆっくりすることが大切だと思いました。無理はしないで、その日、その時に出来ることだけやればよいと思います。

辛い時期はほんの一時期です。あつという間に過ぎてしまいます。周囲の協力も借りながら無理しすぎず、頑張ってください。



優しい空気が流れるまち

子育てはママとパパ、どちらも重要な役割を担っています。二人で協力し、楽しく育児できることが一番望ましいですが、ママの方が育児に関わるのが多く、その分、悩みや課題を抱えやすいのが現実です。

今回取材したママたちも、様々な悩みや課題を抱えていましたが、どこか楽しみながら育児をしている姿が印象的でした。ママたちは皆さん「開成町は子育てがしやすい。」と話していました。それは、「開成町は、町全体で子育てを応援してくれていると感じることが出来るから。」とママたちは言います。

ママたちの悩みや課題に対して、それぞれのライフスタイルに合わせた子育て支援を利用できること、そして何より地域や町民一人ひとりが、子育てする皆さんを応援する優しい空気が流れていることが、開成町でママになる方が多い理由なのかもしれません。

ママ、パパ、だ〜いすき！



まちづくり情報特派員特集

開成町ブックスタート

「ブックスタート」という言葉を知っていますか？
0歳児のいるご家庭に、絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本をプレゼントする事業です。

町では、この取組みを今年からスタートしました。今回は町民センターで行われたブックスタートの現場を訪れました。



ブックスタートに携わる中谷 純子さん（下延沢）（左）

一冊の絵本が繋ぐ

コミュニケーションの始まり

ブックスタートは、ママやパパと赤

ちゃんとお話を聞きました。
「0歳児ですから、本の内容などはわかりませんが、こうしてママやパパの声を聴くことが、赤ちゃんにとつととても大切な事です。」と平野さんは言います。
さっそく、もらった絵本をママの優しい声で語りかけます。可愛い絵を覗きこむ赤ちゃん。なかには絵本にしゃぶりつく赤ちゃんも（笑）
ママと赤ちゃんが温かい時間を過ごしていることがこちらにも伝わってきました。

そうそう、パパの声も赤ちゃんの耳に優しく響くそうですよ。この日はパパの姿はありませんでしたが、ブックスタートを経験したパパも、たくさんいるそうです。

パパの声がぴったりの絵本も！

パパの声がぴったりの絵本もあるそうです！読み聞かせが、パパと赤ちゃんの素敵なコミュニケーションタイムになることも請け合いです。
ママもパパも赤ちゃんも、大切な思い出になってくれたら嬉しいですね。

絵本との出会い

＊ブックスタートのながれ＊



町の「7～8か月児健康相談」。生まれて7～8か月の赤ちゃんが、保健センターにやってきます。



相談を待つ親子に読み聞かせをします。（写真右が平野さん）



4種類の絵本から気に入った絵本を選びます。



気に入った1冊をその場でプレゼント！

レッツ！
読み聞かせ！

編集後記

そういえば私も布団の中や両親の膝の上で読み聞かせをしてもらった思い出があります。そういう記憶は、不思議と忘れないものですね。

そして今、小学生になった子どもにも度々読み聞かせをしています。先に眠ってしまったりしながら（笑）こうした時間が家族の幸せへの一番の近道なのかも知れませんね。

まちづくり情報特派員 小田 猛





いっしょに、ゆっくり、親子になろう

～「里親家庭」という家族のカたち～

問 子ども・子育て支援室 ☎84-0328

～里親さんの声～

「里親家庭」というと何か特別なことのようにですが、家族のスタイルの一つだと思っています。

一緒にご飯を食べ、お風呂に入り、学校での話を聞いたり、川の字で枕を並べて寝ころんだり、買い物やランチに出かけたり。どれもごく当たり前の生活ですが、その生活を経験出来てこなかった子ども達が多いです。当たり前のことを一緒に出来ることが子どもにとっても、私たち夫婦にとっても素晴らしいことであり、日々子どもから幸せをもらっています。

子どもとの生活はもちろん、最初から上手くいくとは限りません。

私たちと子どもは全く違う環境や文化で育ってきたのですから。でも、同じ部屋の下で暮らすと不思議な一体感が生まれてくるものです。

「いつしか、家族になっていく」それが里親の醍醐味かもしれません。

一人の子どもと生活し、関われることは、その子の一生のうちたとえ一部分であれ共有することが、幸せの種まきになる。

いつの日か「私たち(里親)と出会えてよかった」と感じてくれたら本望です。

親に代わって子どもを育てる家庭を、児童福祉法で「里親」と呼びます。

「里親制度」とは、さまざまな事情で自分の家庭で生活できなくなった子どもたちを、里親の家庭に迎え入れ、養育し、子どもが「心身ともに健やかに育つ権利」を守る制度です。児童養護施設とは異なり、子どもが里親と生活することにより、一般家庭と同じ生活環境、親子という人間関係のつながりを保障することができきます。

県西地域では小田原児童相談所を中心に、里親4か所の児童養護施設、地域社会が連携し、里親制度の普及・啓発活動を行っています。

「里親になるにはどうしたらいいの?」

「里親は具体的にどんなことをするの?」

など、どんなことでも結構です。お気軽にお電話ください。



県ホームページ

問 (福)ゆりかご園家庭養育支援センター ☎0465-48-4921

問 県小田原児童相談所 ☎0465-32-8000 (代表)

※各市町の窓口で「里親制度のご案内」のパンフレットを配布しています。



*緊急の場合は110番通報
 児童相談所全国共通ダイヤル ☎189
 県小田原児童相談所 ☎32-8000
 町子ども・子育て支援室 ☎84-0328

11月には児童虐待防止推進月間です。しつくと暴力は異なりませす。暴力で子どもを従わせることはしつくとはいえず、たとえ親がしつけども思っている子どもにとつて有害な行為や発言は虐待となります。

虐待を受けていると思われる子どもにも気づいたら、迷わずにご連絡ください。その連絡により子どもが虐待から救われるだけではなく、虐待をしている大人への支援の第一歩にもなります。連絡者に関する秘密は厳守されます。また、虐待でなかった場合も責任を問われることはありません。

みなみ地区の企業誘致第1号が操業間近!

立地する企業をバックアップ

開成町は、交通の利便性が高く、豊富な水に代表される資源の豊かな土地です。

町では固定資産税や緑地面積等の優遇措置を設けて、さらなる町の発展、活性化に向け定住促進・雇用促進の観点から研究所や工場などの企業誘致に取り組んでいます。

その結果、みなみ地区の工業専用地域の1区画に(株)柴橋商会西湘工業の立地が決定し、現在、稼働に向けて工業の建設などが

進められています。

(株)柴橋商会は、県内を中心に関東一円の病院や福祉施設向けに、寝具・タオル・パジャマ等のリネンサプライや福祉用具のレンタル・販売を行う企業です。

西湘工場の操業開始は今年12月の予定で、従業員の地元雇用にも積極的に取り組んでいくとしており、地方創生の観点からも地域に雇用を生み出すことが、町の発展につながることが期待されます。



株式会社 柴橋商会

- ・本社 横浜市神奈川区鶴屋町2-11-5 SGビル
- ・資本金 9,317万円
- ・売上高 205億円 (2017年度)
- ・従業員数 1,531名
- ・求人に関する問い合わせ
西湘工場 TEL: 045-312-3231

詳しい情報はホームページに
<http://www.shibahashi.co.jp/seisho/>



問 産業振興課

☎ 84-0317

はじめまして! 柴橋商会です!

この度、新たに開成町の一員に加われる事を大変嬉しく思っております。

弊社事業にご興味のある方は、この機会にぜひ一緒に働きませんか?

ご検討いただきますよう、よろしくお願いたします。



代表取締役社長 柴橋和弘さん

▶ 西湘工場完成図



STOP! 不法投棄!!

11月は不法投棄撲滅強化月間です。

問 環境防災課

☎ 84-0314



不法投棄物
にた置かれた
ごみ置場



不法投棄をしない!
させない!
許さない!



ごみ出しルールを守るように
啓発

不法投棄を見つけたら!

町環境防災課、県西地域県政総合センター、松田警察署へ通報してください。通報により早期対応ができます。

パトロール

町環境美化推進協議会などの協力によりパトロールを行い、不法投棄されない環境づくりへの取組み

看板の設置

不法投棄が多い場所に看板を設置し、不法投棄の禁止の呼びかけ

不法投棄への啓発シール

不適切に出されたゴミには、黄色いシールを貼り付けて、



問 環境防災課 ☎ 84-0314

問 県西地域県政総合センター

環境部 ☎ 32-8000

問 松田警察署 ☎ 82-0110

9/28 (木) **開成弥一芋出荷式**

問 産業振興課 ☎84-0317

JAかながわ西湘開成営農経済センターにおいて、開成町ブランド認定産品「開成弥一芋」の初出荷式が行われました。

今年は、6、7月の雨量や8月の日照時間が少なく、生育が心配されましたが、出荷に適したサイズの美味しい弥一芋が収穫されています。



開成町の秋の味覚がよいよ出荷



ていねいに刈りとする参加者の皆さん

10/1 (日) **米栽培体験学習「稲刈り」**

問 産業振興課 ☎84-0317

金井島の水田において、米栽培体験学習塾「稲刈り」が開催されました。

今年は町内外から約80人の親子が参加しました。

5月の田植え体験で植えた「キヌヒカリ」が実りの秋を迎え、鎌を使った手作業での「稲刈り」を体験しました。参加した皆さんは、農作業の大変さを学びながらも、収穫の喜びを実感していました。

10/1 (日) **瀬戸屋敷でお月見**

問 あしがり郷 瀬戸屋敷 ☎84-0050

瀬戸屋敷の年中行事として、瀬戸屋敷倶楽部の主催による「十五夜」を開催しました。

十五夜の団子作り、お月見コンサート、紙芝居などが行われ、参加者は月見団子を食べながら、古民家で秋の風情を感じる一日を過ごしました。

◆瀬戸屋敷を利用しませんか？施設予約はコチラ▶



みんなで楽しくお月見団子づくり



左から、湘南電力(株) 原 正樹 取締役社長、府川町長、ベルマーレクイーン 林 杏奈さん(中家村)、湘南電力(株) 古川 剛士 取締役、エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議 鈴木 倅介 代表、ほうとくエネルギー株式会社 志澤 昌彦 取締役社長

10/3 (水) **電気も地産地消へ**

問 財務課 ☎84-0322

町では、地球温暖化対策の推進に向け、また、新エネルギーの利活用を推進することを目的として、県内で電力の地産地消に取り組む「湘南電力株式会社」及びメガソーラー事業を展開する「ほうとくエネルギー株式会社」と協定を締結しました。

今後、電力の地産地消の促進に取り組んでいきます。

町の写真を投稿中！開成町公式instagram→





子ども自転車の乗り方教室で
自転車に挑戦▶

◀力とスピードが勝負のだるまおとし



あしがらを回るライドハンターズが
一斉にスタート▶



10/8
(日) **スポーツの秋を満喫!**

問 自治活動応援課 ☎84-0315

開成水辺スポーツ公園で、「かいせいスポ・レクフェスティバル2017」や「あしがらロングライドaround開成」、「ライドハンターズin開成」を同時開催しました。県内外から650人以上が集まった「あしがらロングライド」の参加者は、開成町を発着点に丹沢湖や足柄峠を巡り、あしがらの自然や特産品を堪能していました。

スポ・レクではキックターゲット、子ども自転車乗り方教室、ニュースポーツ、ヨガ教室などで子どもも大人もさわやかな汗を流し、晴れ渡った空の下、スポーツの秋を満喫しました。

▶的を抜けると楽しい
キックターゲット



◀ニュースポーツ「キンボール」



スタッフが笑顔でお待ちしています!

10/7
(土) **瀬戸屋敷にカフェがオープン!**

問 あしがり郷 瀬戸屋敷 ☎84-0050

瀬戸屋敷の新たな魅力として、「Café hacco (カフェハッコ) -by Ashigarigo-」がオープンしました。

オープン初日は、約190の方が訪れ、ランチコンサートや縁側でコーヒーを飲みながらゆったりとした時間を過ごしていました。ぜひ、お立ち寄りください!

10/17
(火) **いのちの授業**

問 教育総務課 ☎82-5221

開成小学校3年生の道徳の授業で、「助産師が伝えるいのちの授業」が行われました。子どもたちは、新生児と同じ大きさの人形を抱っこすると「抱っこするの緊張する。」「思っていたより重いね。」と驚きながらも嬉しそうにしていました。授業をとおして、子どもたちは命の大切さを学びました。



助産師の話しに聞き入る子どもたち





子育てカレンダー 11月



このカレンダーは、就学前のお子さんに関する予定を掲載しています。

㊦ 申込みが必要です

月	火	水	木	金	土	日
		1	2 ☆3~4か月児健診 (保健センター) ♪おでかけ保育 (みずのべ保育園)	3 文化の日	4 かいせい文化祭 芸能発表の部 (福祉会館)	5
6	7	8 ☆ママ&パパ教室② (保健センター)	9 ♪ふれあい フォーラム㊦ (福祉会館)	10	11 ㊦子どもの広場㊦ (町民センター図書室) ◇土曜開所日 (あじさいっこ) かいせい文化祭 展示の部 (町民センター)	12 かいせい文化祭 展示の部 (町民センター)
13 ◇相談タイム (あじさいっこ)	14 ☆3歳児健診 (保健センター)	15 ㊦おはなし会 (町民センター図書室) ☆ママ&パパ教室③ (保健センター) ♡チビっ子らんどおはなし会 (福祉会館)	16 ♪ふれあい芋煮会 (酒田保育園) ☆離乳食教室 (保健センター)	17 ◇赤ちゃんともまの ティータイム (あじさいっこ)	18 ☆ママ&パパ教室④ (保健センター)	19
20 ◇あじさいっこで わらべうた (あじさいっこ)	21 ☆7~8か月児 健康相談 (保健センター)	22 ☆乳幼児健康相談 (保健センター)	23 勤労感謝の日	24 ☆ママ&パパ教室⑤ (保健センター)	25	26
27	28	29	30 ♡♪ちびっこサロン (福祉会館)	12/1	2	3

問合せ
申込み

- ☆ 保険健康課
- ♪ 子育て支援センター(酒田子育て支援室)
- ◇ 駅前子育て支援センターあじさいっこ
- ㊦ 子ども・子育て支援室

- 84-0327
- 82-1222
- 20-9720
- 84-0328

- ♡ 社会福祉協議会
- ☺ 教育委員会事務局教育総務課
- ㊦ 町民センター図書室

- 82-5222
- 82-5221
- 82-5221



お月見団子作りを行いました。



遊びにきてね!

みなさんはいちご会を知っていますか? 私たちは、母子保健推進員のOB会として、平成15年から活動を行っており、離乳食講習会での託児や「いちごクラブ」を開催しています。

「いちごクラブ」は、初めて子育てをするお母さんたちが集まり、母親同士の間を願う活動しています。

対象の親子には、保健師の訪問や健診の際に、ママちゃんカード(招待状)をお渡ししています。このカードは私たちが一つひとつ手作りをしています。

子育てナビ

問 保険健康課 ☎84-0327

私たちいちご会です。

今回のいちごクラブ
11月6日(月)
9:30~10:00受付
「子育てセミナー」
子育てに役立つ情報をお届けします。
参加費100円

ひな祭り↓
かわいい雛人形が並びます
*スタッフの手作りの素敵!



↑お月見の時の会場
季節を感じます。

お団子づくり風景→
楽しそう♪



調理実習では、食生活改善推進協議会の協力を得て行っています。参加者の笑顔を見ると、「開催したよかったです」と感じます。



食育コラム (7)

問 保険健康課
☎84-0327

今月のテーマは、幼児の食事!
～♪食文化の伝承♪①～

十五夜のお月見団子の他にも、ちらし寿司や柏もちなど、日本には多くの行事食があります。それぞれの行事食は、旬の食材を使い、いろいろな願いや感謝の思いが込められています。そんな素敵な行事食を少しですが、紹介します。

行事食の一例

- ◆10月：お月見団子⇒秋の実りに感謝する
- ◆12月：年越しそば⇒今年一年の災厄を断ち切る

子ども関係だと・・・

- ◆3月：ひなまつりのちらし寿司⇒縁起が良く、華やか
- ◆5月：端午の節句の柏もち⇒家系が絶えない、子孫繁栄



今回は、食文化の伝承パート②です。

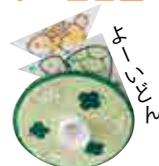
日本人のこころ「だし」の素晴らしさと簡単な取り方を紹介します！

みんな集まれ! / 子どもの広場 おはなし会

町民センター図書室

◇子どもの広場

内容 「よーいどん」を作ります
日時 11月25日(土) 10:00～
持ち物 はさみ・カラーペン
対象 5歳～(未就学児は保護者同伴)
場所 町民センター2階 小会議室A
申込み 直接図書室へ 又は、☎82-5221



◇おはなし会 (第2土曜日、第3水曜日)

日時 11月11日(土) 13:00～
11月15日(水) 15:00～
場所 町民センター3階 図書室
申し込みはいりません。

小学校就学前に

麻しん・風しん予防接種を受けましょう

小学校就学前の1年間、麻しん(はしか)、風しんの第2期の予防接種を無料で受けることができます。忘れずに受けてください。

実施医療機関：足柄上医師会、小田原医師会の予防接種実施医療機関

町内実施医療機関：岡部医院、おくやま小児科、小泉クリニック、樹こどもクリニック、松元医院

持ち物：母子健康手帳

問 保険健康課 84-0327



◀親子で楽しく
▼稲刈り



元気だより



問 酒田保育園 ☎82-2277

「おこっちゃん」
「ただいま」

酒田保育園 保育士

木村 美晴

年長のゆり組さんが、「酒田んぼ」でどろんこになって田植えをしたのが6月でした。農協から毎年頂く「キヌヒカリ」の苗を親子で植えました。そして10月になり、小さな「酒田んぼ」が黄金色に染まり、初めて稲刈り体験です。37名のお友だちが、お父さんやお母さんと一緒に収穫を楽しんでいます。「なえがこんなにおおきくなってよかったね」「いねかりってちからがあるね」と、鎌を持って笑顔で頑張っていました。稲刈りの後は、かけ干しにも挑戦です。「おこめになるのはいつなの?」の質問に答えられないお父さん、お母さん。一週間後に子どもたちは、稲束を足踏み式脱穀機で粃(もみ)にするまで体験しています。収穫したお米を自分たちで炊飯し、「おにぎり」にするまでの6か月の体験は、食の大切さを学ぶ大切な活動です。



—日本製紙クレシア株式会社・開成通産株式会社—

企画政策課 ☎84-0312

日本初のティシュー工場

「日本製紙クレシア株式会社」は、1961年、山陽スコットとして誕生し、1963年、開成工場の操業が始まりました。

豊かな自然環境、富士山系の良質で豊かな水、交通の便に恵まれ、首都圏に近いなど、ティシューづくり最適な地である開成町に工場が建設されました。日本初のトイレットティシューは、開成町で生まれました。

その後、1996年、十條キンバリー(株)と合併し、2006年に現在の社名に変更されました。

全国で販売されているティシューの一つ「クリ

ネックス」は、全て開成町で生産されています。

操業開始から支える

「開成通産株式会社」は、日本製紙クレシア(株)を操業開始から支える重要な会社です。パルプの輸送、構内での物流、工場での機械の操作などティシュー製造において、重要な役割を担っています。

代表取締役の村重常吉さんは、「操業開始当時は、鉄

道輸送された原料のパルプを国鉄松田駅から大型トラックで工場まで輸送していました。大型トラックでの、細い道の通行には大変苦労しました。

その後、足柄大橋が開通し、物流は大きく変わりました。「と、話されていました。町の発展が企業の発展につながっているのを感じました。

地域の一員として

毎年6月のあじさいまつり会場で「紙すき体験」の開催や自社製品を紹介するなど、あじさいまつりを盛り上げていただいています。いつもた



カットされる前のトイレットティシュー



商品 自動でパッキングされる



折り方がティシューの要

くさんのお子さんでにぎわっており、ここ数年はテレビでも紹介され、人気のブースになっています。

また、工場の敷地内にある広葉樹の下にはたくさんのおんぐりが落ち、町内小学校の1年生が毎年そのおんぐりを拾いに来るそうです。3年生になると、社会科学見学で工場を訪れ、自分たちの町で作られる製品について学びます。

どんぐりを拾った子どもたちが高校生になり、採用試験に訪れた際、小学校の思い出をなつかしむ姿も見られるそうです。

他にも、あじさい農道の清掃や、クリーンデーへの参加、消防団への協力など、地域の一員として様々な活動に参加されています。

開成町で作られているクリネックス▼



高級トイレットティシューは手ざわりが違う



特別な時に。1箱1,000円の「羽衣」▶

クレシアオンラインショップより購入できます

長きに渡る地域での活動が、地元での雇用につながっていることを大変うれしく思いました!



左から日本製紙クレシア 中島工場長、府川町長、開成通産 村重社長

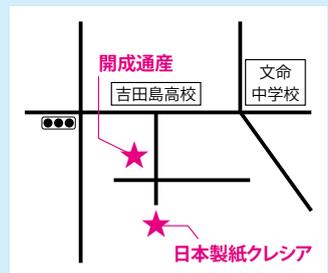
今回訪れたのは…

日本製紙クレシア株式会社

開成町吉田島500番地

開成通産株式会社

開成町吉田島480番地



このコーナーでは、町工場会に加盟している企業を町長が訪問し、紹介します。



🏆 スポーツの結果

第57回町内サッカー大会
 会場 開成水辺スポーツ公園
 開催日 9月10日(日)・24日(日)
 優勝 ベレッセA
 準優勝 ベレッセB
 3位 おやじーズ

📄 お詫びと訂正

広報かいせい10月号の記事に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P6 『開成町から全国で輝く!』
 (正)山の秋風 (誤)屋の秋風
 P14 『まちかどトピックス』
 自転車の安全な乗り方
 足柄上地区大会8連覇!
 (正)5年生 (誤)4年生

🔌 あじさい公園発電所

月	発電量 (kwh)	消費量 (kwh)	売電量 (kwh)	売電額 (円)
2017年7月	993.5	17.5	810	29,743
8月	694.5	17.5	467	17,148
9月	1058.5	17.5	848	31,138

👉 New
 開成町の地下水を使ったサイダーができました!

開成町の水道水は、地下80mから汲み上げた地下水を使用しています。その地下水を使い、スッキリした味わいと適度な甘さがある、飲みやすいサイダーができました!

町内商業施設でお買い求めください。

📞 上下水道課
 84-0319



9月16日から10月15日に届出のあった方で希望された方のみ掲載しています



🎨 文芸

開成俳句会 俳句 十月吟 ともしび短歌会 短歌 九月詠

飛石は女の歩中居待月
 新築の槌音せまる鴉の晴
 一村の刈田となりて陽の匂ひ
 芒野や馬と分け行く阿蘇の裾
 月光をひとりじめして終風呂
 狭き田や月の朱きのどんよりと
 月の出て隣り家の静かなり
 宵の月犬に引かるる散歩かな
 月見むと東病棟歩つぽつす

波多野すみ枝
 濱本 主雄
 瀬戸 悦子
 奥津ちわき
 遠藤美津子
 遠藤マツエ
 遠藤シヅ子
 足立ふみえ
 近藤 正臣 選

夏野菜うどんこ病で全滅よ
 西瓜・胡瓜が特にひどくて
 天候不順や振り返す残暑で、夏野菜の出来が良くない。家庭菜園でも病気が発生。「全滅よ」の言葉に、落胆の様子が感じ取れる。
 ※うどん粉病の表面に白いカビが生える病気。
 被災地の三連水車復活す
 ほとぼしりしては田に浸りゆく
 三連水車の復活は、被災地に活気を与える象徴。下の句は、その様子を巧みに捉え、勢いと潤いと広がりを与え、秀歌にさせている。
 諸星 末子
 そちこちから枇杷の実送られ舌鼓
 打ちつつじつくり水墨に画く
 作者は、戴いた枇杷を、視覚と味覚で堪能した後、じつくりと水墨画に描いたという。素晴らしい出来映え振りが想像される短歌。
 府川ハツエ
 近藤 正臣 選

📖 今月の1冊

町民センター図書室
 十歳までに読んだ本



西加奈子・益田ミリ ほか
 子どもの頃にどんな本を読んでいたか? という質問に対し、約70の「大切な本」についてのエッセイが集まった。寄稿したのは小説家や女優、映画監督など幅広い。

彼らが子どもの頃、夢中になって読んでいた本は、楽しさや勇気を与え、大人になっても忘れることのできない本となった。そんな「大切な本」への思いを綴った本書を読書週間にあわせて読んでみてはどうだろうか。

☆読書週間は10/27~11/9です。

※新しく購入した本はおしらせ版で!

📢 広告

柴橋商会「西湘工場」
 2017年12月より開成町にて稼働開始!! (予定)
 神奈川県内の医療・福祉施設向け
 タオル・衣類のクリーニング工場です。
 開成町の皆様、どうぞ宜しくお願い致します。
 株式会社 柴橋商会

J:COMチャンネル小田原

アプリで
 地元のニュースや
 イベントが見られます!!



便利な「ど・ろーかる」
 アプリはこちらから

※視聴には通信環境(Wi-Fi・LTEなど)が必要です。

詳しくはお問い合わせください。

☎ 0120-914-000 AM9:00~PM6:00 [年中無休]

※発信番号等が非通知に設定されている場合は、0120の頭に188をつけてお電話ください。

※2017年8月末現在(一部除く)。J:COMチャンネルは、J:COM対応済みの建物にお住まいの方なら誰でもご覧いただけるチャンネルです。テレビのチャンネル設定(再スキャン)が必要な場合があります。※会社名・製品名・サービス名は、各社の登録商標または商標です。一部申請中のものを除きます。



今月の表紙



あじさいちゃんが大好きな遼香ちゃん

妹の7～8か月児健康相談にお母さんの陽子さんと一緒に来ていた松田遼香ちゃん(3)(下延沢)。

松田さん一家は、今年、南足柄市から開成町に引っ越しました。「調べたら開成町は、子育てがしやすいと思ひ引っ越し先を選びました。実際、とても住みやすく、満足しています。」と陽子さんは話してくれました。

今月の一枚



秋空の下で稲刈り(10月1日)

撮影:フォトあしがら

統計かいせい



人口と世帯

10月1日現在()内は前月比

◆人	□ 17,466人(4)	◆世帯数	6,489世帯(-2)
男	8,520人(-5)	◆出生	16人
女	8,946人(9)	◆死亡	12人

※平成27年国勢調査からの推計値。



安全データ

9月分()内は1月からの累計

◆交通事故件	3件(37)	◆火災発生件数	1件(2)
死亡	0人(0)	◆救急出動回数	61件(523)
重傷	0人(0)		
軽傷	3人(56)		



降水量

9月分()内は昨年同月分

◆降水量	247.5mm(314.5mm)	◆雨	15日(17日)
------	------------------	----	----------



もえるごみデータ

9月分収集量 約242t(約247t)
()内は昨年9月分
収集運搬費 約256万円(4月からの累計約1,631万円)
※収集量は昨年同月比約2%の減となり、収集運搬費は約5万円(今年度収集単価換算)の減となりました。ごみの分別にご協力をお願いします。



納期

※毎月納付以外のものを記載しています。

11月30日休

- ・国民健康保険税(6期) ・後期高齢者医療保険料(5期)
- ・介護保険料(6期)
- ・上・下水道使用料(4期)



漏水当番

道路などで漏水を発見したら、役場または下の指定業者に連絡してください。

当番期間	漏水当番水道業者	
11/ 1～11/ 7	(有)鈴木設備	☎83-7900
11/ 8～11/14	(株)西湘設備工業	☎82-9916
11/15～11/21	(株)神成工業	☎83-3387
11/22～11/28	(株)キタムラ	☎82-0721
11/29～12/ 5	(有)草柳設備	☎82-6323

編集後記

子育て特集の取材で、たくさんのママ&パパたちにお会いしました。皆さんパワフルで、子育てを楽しんでいる姿がとても印象的でした。(W)

広告

在宅・施設・介護者訪問美容サービス
在宅療養している方・施設に入所している方
パーマ・ヘアカラー・カット ご相談ください

美容室 ハーティ

9:00～18:30 定休日/毎火曜日・第2,3月曜日
開成町吉田島 1521-8(開成駅前) TEL83-5556

匠の技に心を込めて、
地域に寄り添う畳屋さん

☎(82)0460

井上畳店

☎(82)0460

since 1910

広告